

玄米低温貯蔵庫

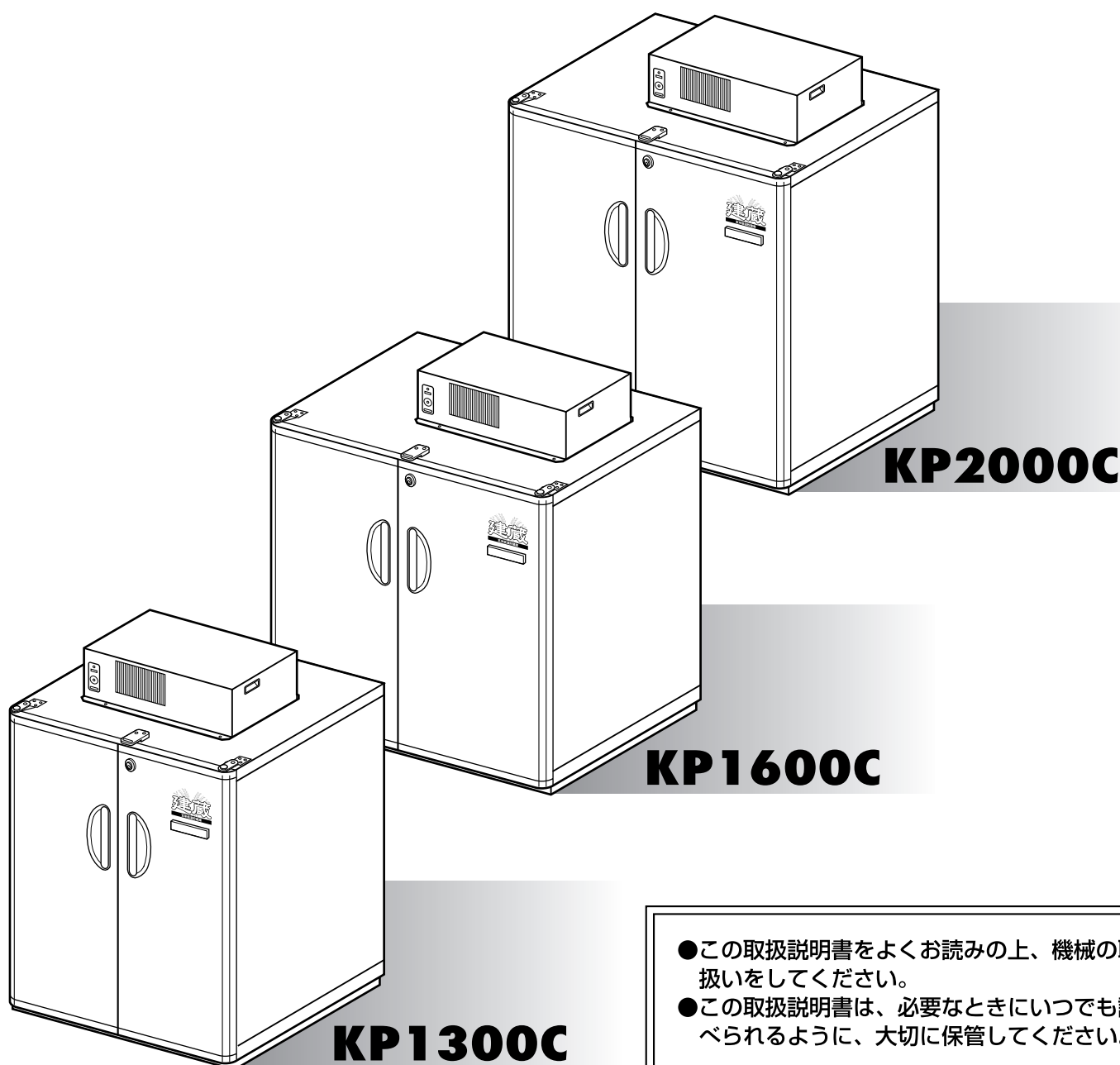
建蔵

KP1300C

KP1600C

KP2000C

取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みの上、機械の取扱いをしてください。
- この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

ご使用の前に

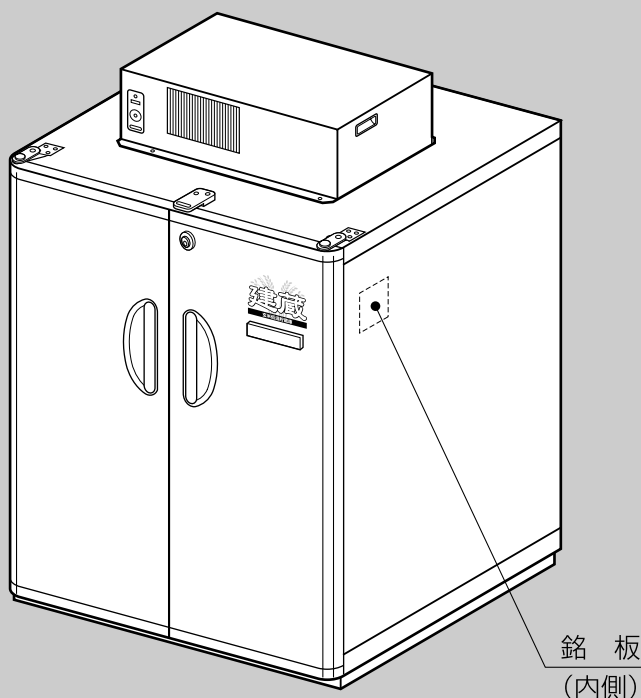
ご使用の前に

- 1.この機械を使用する前に、この取扱説明書をまっ先にお読みください。
その上で、取扱説明書に従って運転操作、保守・点検を行ってください。
- 2.この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測、想定できているわけではありません。
従って機械の運転、保守・点検を行う場合は、取扱説明書の記載および機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分配慮してください。
- 3.この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または製造元の営業所か本社営業部（**8** 連絡先参照）にお問い合わせください。
- 4.この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。
紛失した場合は、購入先へ注文してください。

機械の型式名のご確認

KP1300C・1600C・2000C

※図はKP1300C



機械の型式名と製造番号が銘板に記入されています。

ご確認の上、次ページの保証書の記入欄に書入れてください。

購入先に点検、修理を依頼したり、部品を注文される時は、この型式名を一緒にご連絡ください。

保 証 書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

記

- 1.保証期間 納入日から起算して満1ヵ年です。
- 2.保証内容 保証期間中に、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれた場合、弊社製品取扱先及びその指定サービス工場で当該部品の取替え、または、修理を無料でいたします。
- 3.適用除外 保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。
 - (1) 使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。
 - (2) 弊社が規定する仕様の限界を越えて使用した場合。
 - (3) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
 - (4) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
 - (5) 弊社製品の取扱先、または、その指定サービス工場以外で修理され故障した場合。
 - (6) 故障判定資料の不十分なもの、及び損傷部品を紛失された場合。
 - (7) 消耗部品。
 - (8) 保証書の提示がない場合は有償となることがあります。
 - (9) 保証書を紛失した場合は再発行いたしません。

4.部品の供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後6年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid in Japan）

製造元 

静岡製機株式会社

静岡県袋井市山名町4-1

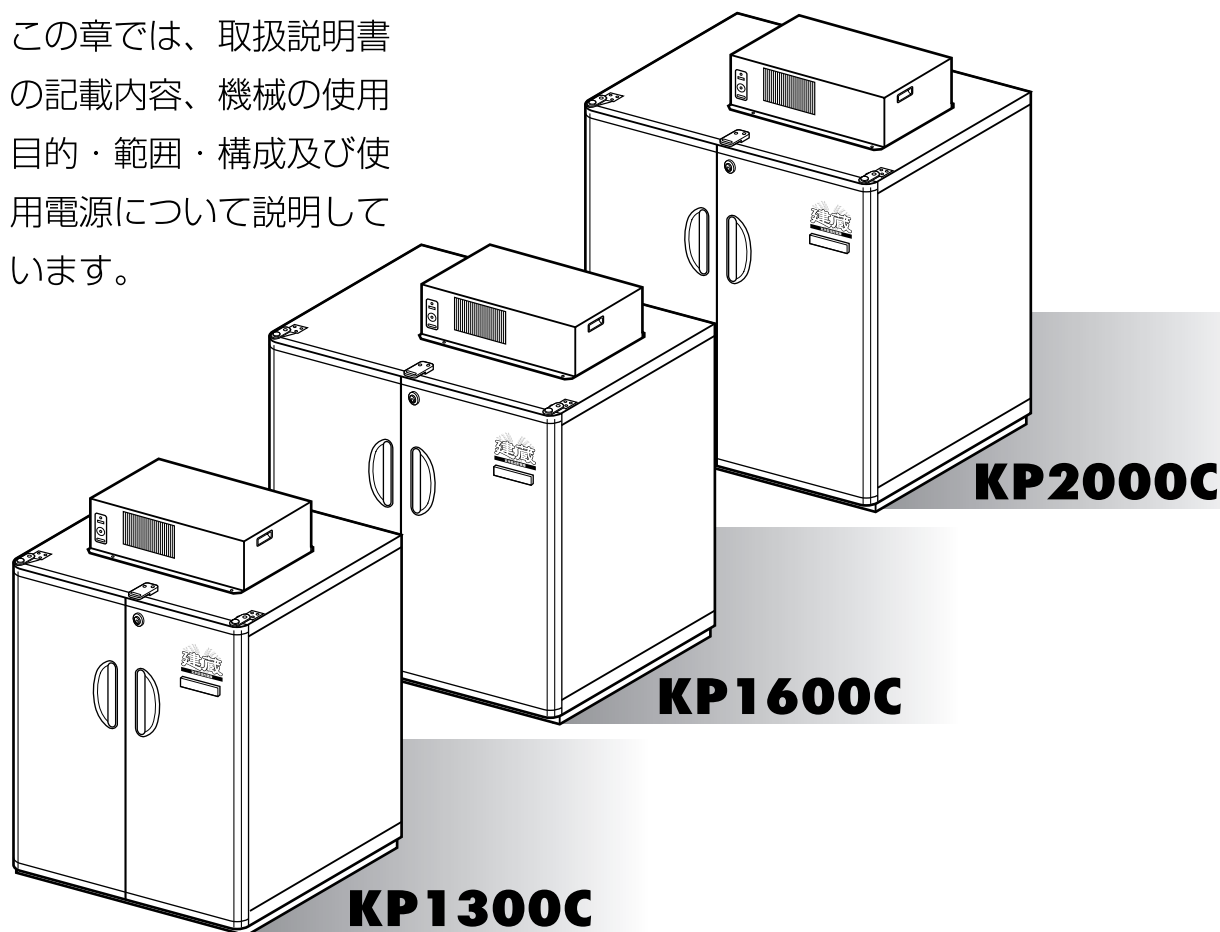
1.お買い上げ製品	(機種名) KP		
2.製 造 番 号			
3.年 月 日	年	月	日
4.組 付 者 氏 名	取扱先名		
	氏 名		

もくじ

ご使用の前に	1
機械の型式名のご確認	1
保証書	2
もくじ	3
1.まえがき	4
2.安全について	
2.1 警告用語の種類と意味	6
2.2 安全に作業を行うための注意事項	7
2.3 警告表示ラベルについて	9
2.3.1 警告表示ラベルの貼付位置	9
2.3.2 警告表示ラベルの内容	10
3.機械の仕様、構成、使用範囲	
3.1 機械の仕様	12
3.1.1 主要諸元	12
3.1.2 機械の据付寸法図	13
3.2 機械の構成	15
3.3 機械の使用範囲	15
4.機械の使用	
4.1 使用上の注意事項	17
4.2 使用方法	18
4.2.1 電源の接続について	18
4.2.2 庫内冷却について	18
4.2.3 庫内温度の設定について	18
4.2.4 排水について	19
4.2.5 貯蔵品の入れ方について	19
4.2.6 転倒防止バンドについて	19
4.2.7 玄米の貯蔵について	20
4.2.8 結露について	22
4.2.9 ドアの密閉について	22
4.2.10 カギについて	22
5.点検と掃除と廃棄	
5.1 点検箇所と方法	24
5.1.1 庫内温度の点検	24
5.1.2 凝縮器の点検	24
5.1.3 設置場所室温の点検	24
5.1.4 排水の点検	25
5.1.5 長期間使用しないとき	25
5.2 掃除箇所と方法	25
5.2.1 凝縮器フィンの掃除	25
5.2.2 ドアや庫内の掃除	26
5.3 貯蔵庫の廃棄について	26
6.不調診断と処置	27
ドア段差とドア間隔の調整	29
ドアゴムと本体のすき間の調整	29
7.保守部品	30
8.連絡先	34

1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、機械の使用目的・範囲・構成及び使用電源について説明しています。



1. 取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、機械の取扱安全事項、仕様、運転操作、保守・点検及び保守部品の説明が記載されています。

2. 機械の使用目的・使用範囲

この機械は、**玄米保冷庫**として設計されています。
玄米以外の物（野菜や果実）を保冷する目的に絶対使用しないでください。
この機械の温度設定範囲は9℃～15℃です。
玄米を貯蔵する場合は2年間程度が限度です。
この機械では予冷はできません。

3. 機械の構成

この機械は、本体と冷蔵ユニット及びすのこで一式になっています。

4. 使用電源

この機械の使用電源は、**単相100V**で、電源電圧が90～110Vの範囲でご使用になれます。
200V電源では絶対に使用しないでください。

2 安全について

この機械を取扱う前に必ずお読みください。

この章では、警告用語の種類と意味、機械の取扱全般についての注意事項及び警告表示ラベルについて説明しています。

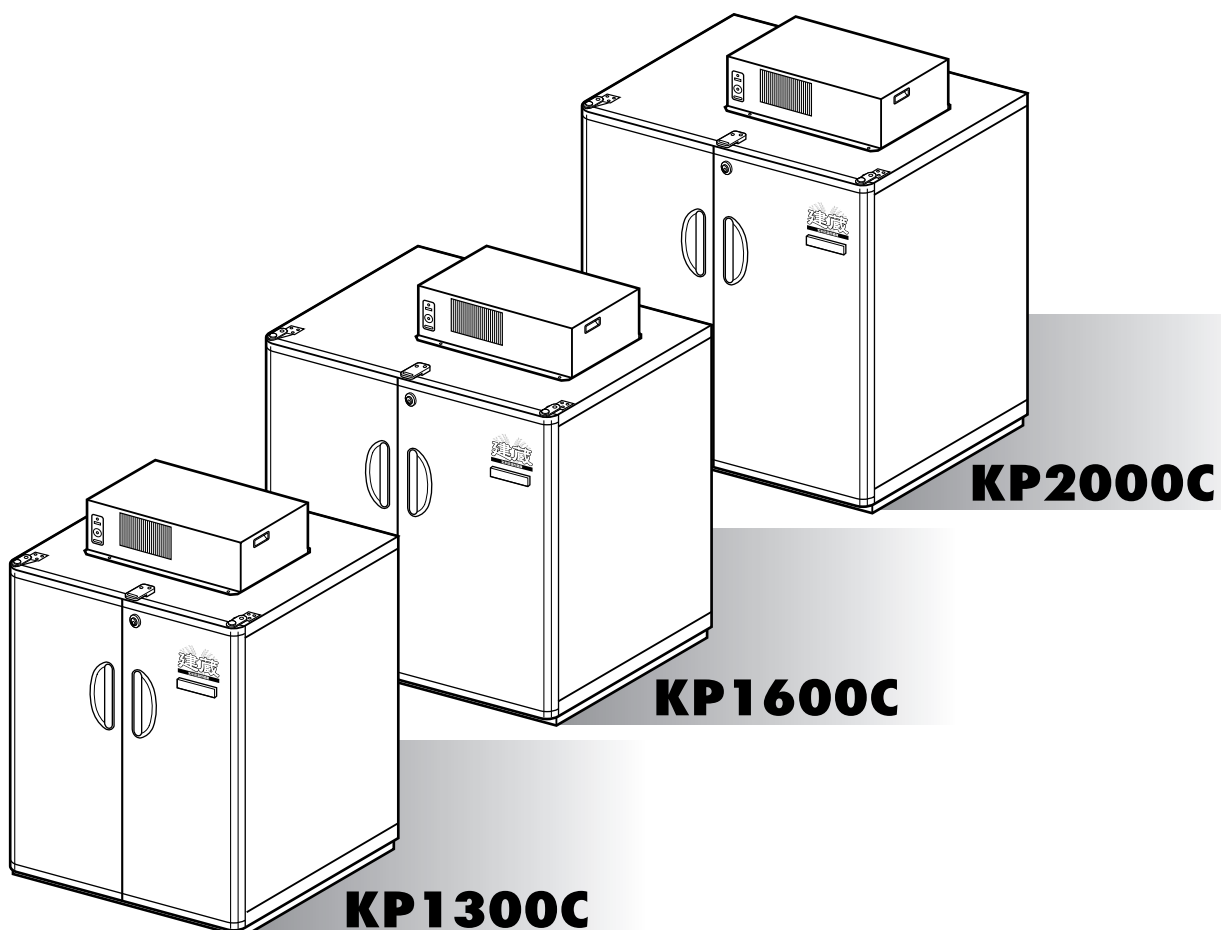
2.1. 警告用語の種類と意味

2.2. 安全に作業を行うための注意事項

2.3. 警告表示ラベルについて

2.3.1. 警告表示ラベルの貼付位置

2.3.2. 警告表示ラベルの内容



2.1.警告用語の種類と意味

取扱説明書の警告内容、及び機械本体に貼付してある警告ラベルは、危険の度合に従って次の2段階に分けています。

この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作、保守・点検を行ってください。

危険等を喚起する表示・標識の種類	喚起する内容
	「警告」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、 死亡又は重傷事故 につながることもあり、 充分で注意 いただきたい内容です。
	「注意」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、 ケガなどの事故 につながることもあり、 ご注意 いただきたい内容です。

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項は、この取扱説明書の中で下記のように書いて、上の警告事項とは区別しています。

重 要

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項について示しています。

注 意

一般的な留意事項

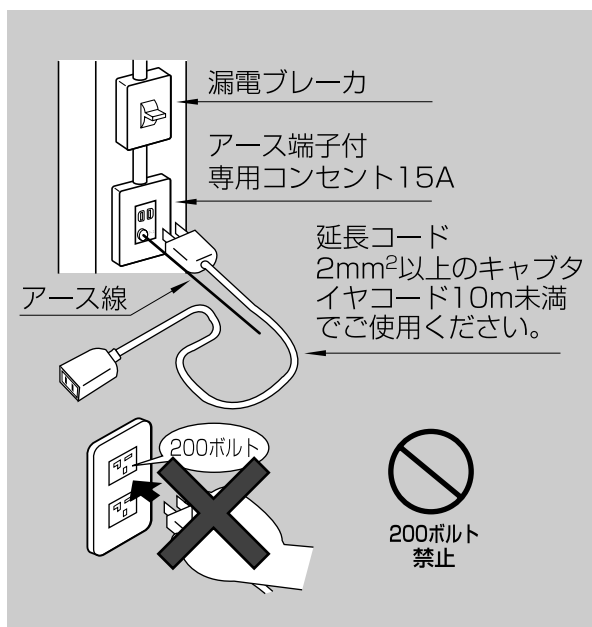
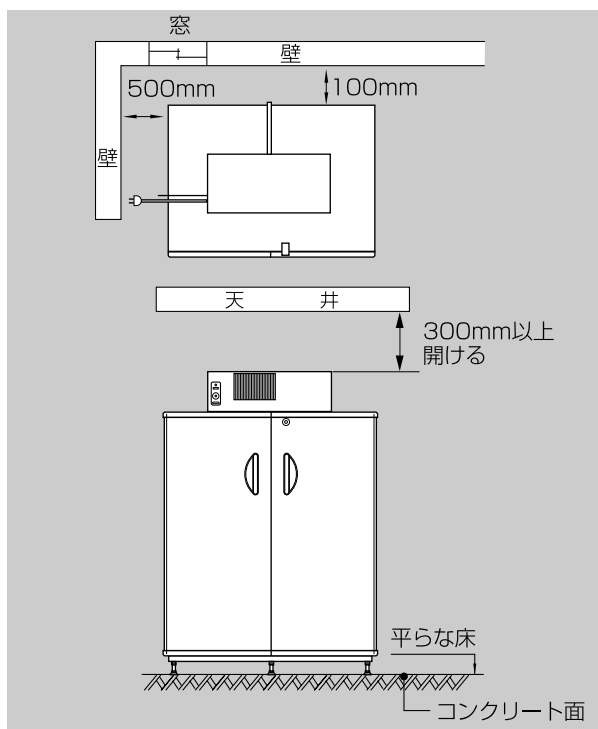
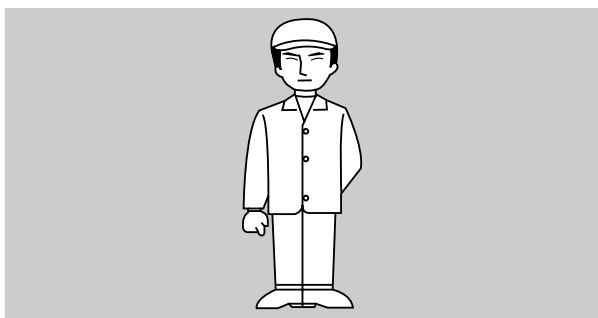
 **警 告**

- この機械の運転操作、保守・点検は必ずこの取扱説明書に従って行ってください。
- 取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先または、(8 連絡先)に、お問合せ、確認してから作業を始めてください。

2.安全について

2.2.安全に作業を行うための注意事項

安全に作業を行うために次の注意事項を守ってください。



1

作業者の服装と健康

- 作業に適した服装と靴で作業してください。
- 過労や病気、酒気おびの状態では作業しないでください。
- 米袋の積み降ろし時などに、腰をいためないようにしてください。
また、台の上に乗っての積み降ろし作業などはしないでください。台から落下してケガをすることがあります。
- 頭や足などをぶつけないよう、注意して作業をしてください。

2

作業場の整備

- この機械は屋内設置用として設計・製作されていますので、屋根のある風通しの良い場所に設置してください。
- 設置場所は平らな所で、しっかりしている床面を選んでください。
- 直射日光が本体に当たらないようにしてください。
- 機械の回りにスペースを確保してください。
- 換気の悪い場所に設置しないでください。
万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の恐れがあります。

3

電源配線とアース

- この機械は交流100V専用です。
- 交流200Vは絶対に使用しないでください。
- 機械の電源は感電事故防止のために、漏電ブレーカ(15mAまたは30mA)があるコンセント(15A)から配線してください。
- 延長コードは電圧降下を防止するために2mm²以上の太さで、10m未満の長さにしてください。
- 他の機械とのたこ足配線は、絶対にしないでください。
- 感電事故防止や機械の誤動作防止のため、アース線の接続をしてください。

重要

上記の配線になっていない場合は、購入先か電気工事店にご相談ください。

4

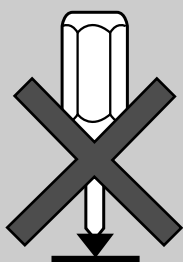
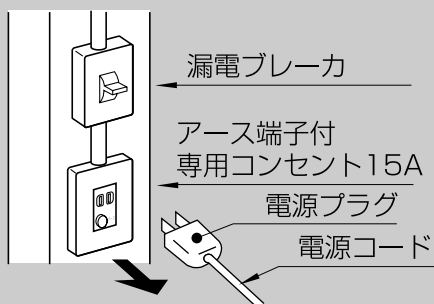
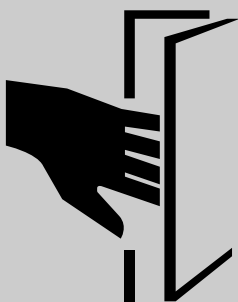
使用中の安全

- カギを掛けてください。
子供が庫内に入ってドアを閉めた場合、子供の力では開かないことがあります。
- カギを掛ける時は、庫内に人が入っていないことを確認してください。
- ドアは取手を持って閉めてください。
ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
- 2枚ドアの中央部や、ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを閉めてください。
- 本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。
転落したり、物が落下して、ケガをすることがあります。
また、機械が変形することがあります。

5

掃除・点検・整備の時の安全

- 各部の掃除、点検をする場合は、必ず元電源を切ってから行ってください。
- 電源コードは電源プラグを持って抜き差ししてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理、改造を行わないでください。
感電・火災・ケガ・故障の原因になります。



2.安全について

2.3.警告表示ラベルについて

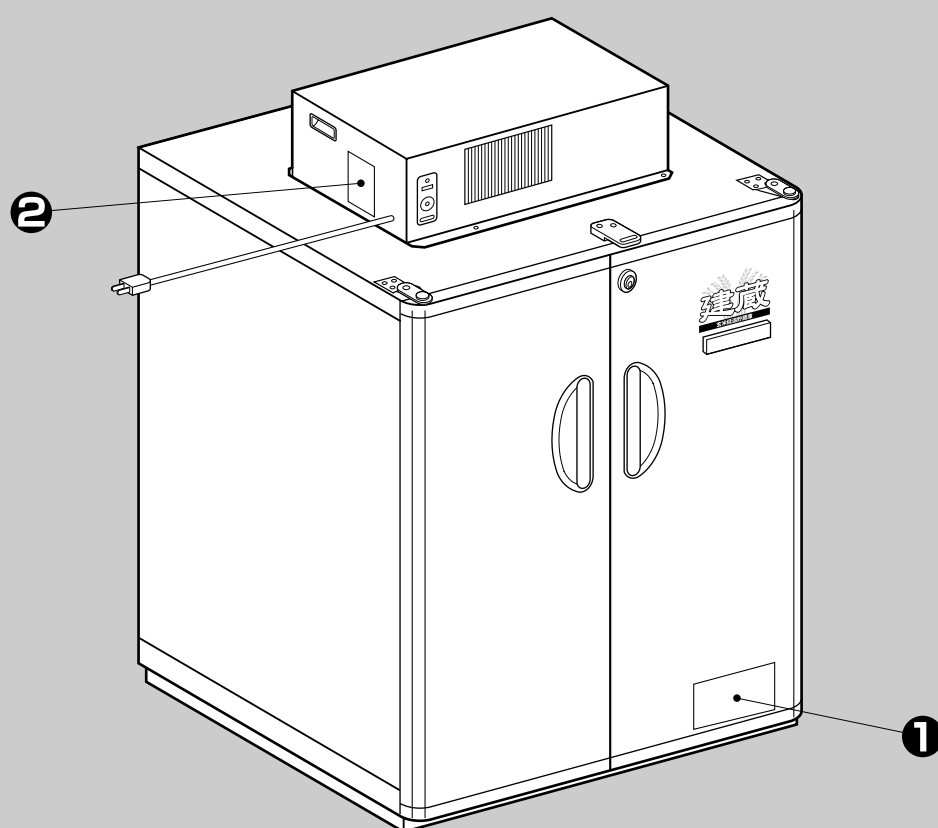
機械の特に注意を要する箇所に警告表示ラベルが貼ってあります。

これらの位置と内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。

2.3.1.警告表示ラベルの貼付位置

警告表示ラベルの貼付位置は次の通りです。

KP1300C・1600C・2000C



●図はKP1300C

図面表示番号	標識	名 称	貼 付 位 置	品 番
1	警告	本体警告・注意ラベル	ド ア	10762-200012
	注意			
2	警告	カバー警告・注意ラベル	冷蔵ユニット側面	10705-200102
	注意			

2.3.2.警告表示ラベルの内容

警告表示ラベルの内容は次の通りです。

警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは新しいラベルに貼替えてください。

ラベルは購入先へ注文してください。

1

警 告		注 意	
修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理・改造を行わないでください。感電・火災・ケガ・故障の原因になります。	本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。転落したり、物が落下して、ケガをすることがあります。	カギを掛けてください。子供が中に入ると、出られなくなることがあります。また、カギを掛ける時は、庫内に人がいないことを確認してください。	事故防止のため、運転を始める前に必ず取扱説明書を読んでから操作してください。
10762-200012			

2

警 告	
	感電することがありますので、電源を入れる前に必ずアース線を接続してください。 内部には電気配線があります。 注水すると漏電し、感電することがありますので注水しないでください。 また、点検する時は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
注 意	
	カバーを外したまま運転しないでください。 回転羽根に巻き込まれてケガをすることがあります。
10705-200102	

3

機械の仕様、構成、使用範囲

この章では、機械の主な仕様、構成、使用範囲について説明しています。

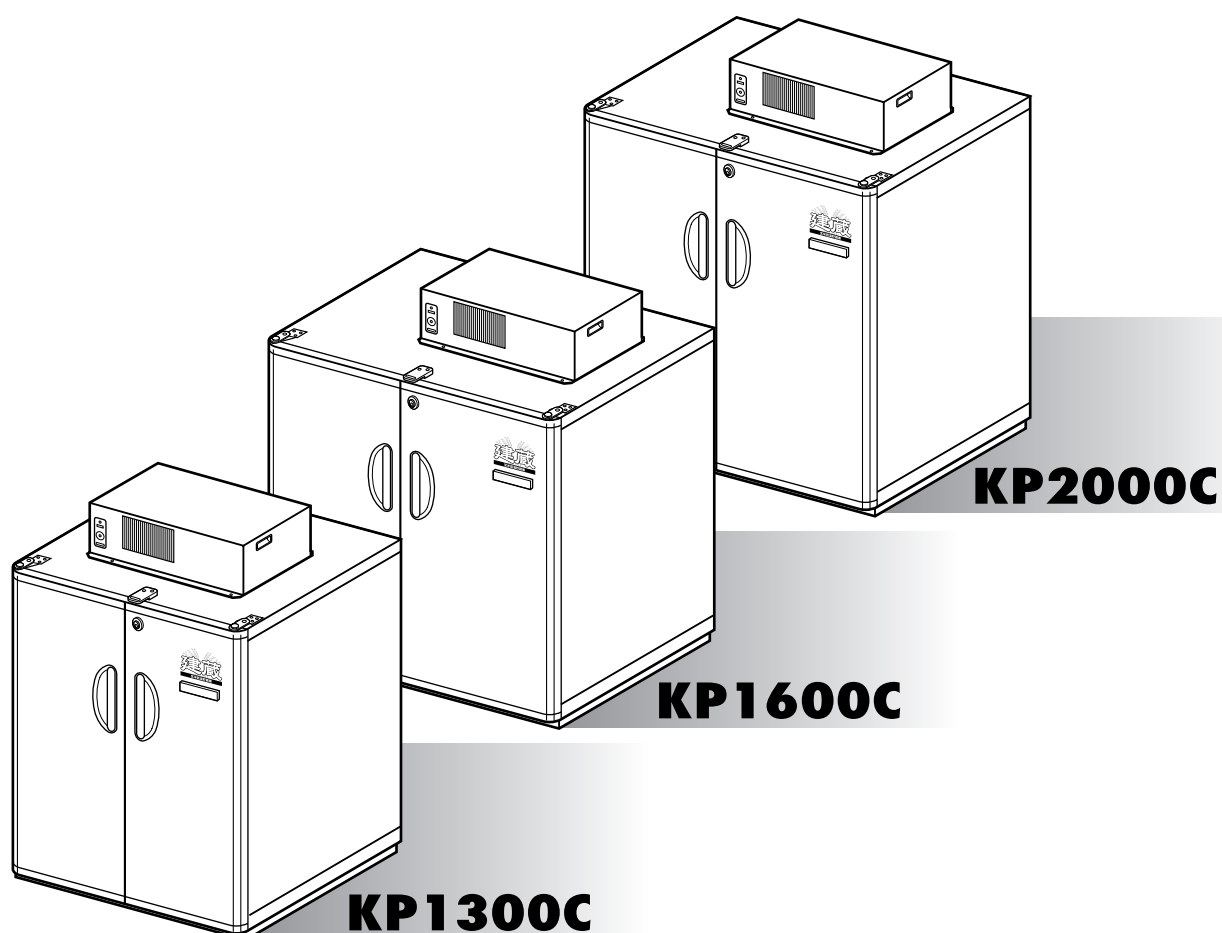
3.1.機械の仕様

3.1.1 主要諸元

3.1.2 機械の据付寸法図

3.2.機械の構成

3.3.機械の使用範囲



3.1.機械の仕様

3.1.1.主要諸元

機械の主な仕様は次の通りです。

名	称	玄米低温貯蔵庫
型	式	KP1300C
寸 法	外寸(奥行×幅×全高mm)	966×1286×1851
	本体(奥行×幅×全高mm)	966×1286×1601
	内寸(奥行×幅×全高mm)	855×1180×1400
有	効 容 積 (ℓ)	1310
製	品 質 量 (k g)	160
電	源 (V / H z)	単相100V・50/60Hz
消	費 電 力 (W)	210/250 (50/60Hz)
冷	媒	HFC-134a
制	御 温 度 (庫 内) (℃)	9~15
使	用 周 囲 温 度 (℃)	5~35
使	用 周 囲 湿 度 (% R H)	40~85
付	属 品	すのこ1枚・バンド

名	称	玄米低温貯蔵庫	
型	式	KP1600C	KP2000C
寸 法	外寸(奥行×幅×全高mm)	966×1546×1841	966×1546×2071
	本体(奥行×幅×全高mm)	966×1546×1591	966×1546×1821
	内寸(奥行×幅×全高mm)	855×1440×1390	855×1440×1620
有	効 容 積 (ℓ)	1587	1870
製	品 質 量 (k g)	182	197
電	源 (V / H z)	単相100V・50/60Hz	
消	費 電 力 (W)	210/250 (50/60Hz)	
冷	媒	HFC-134a	
制	御 温 度 (庫 内) (℃)	9~15	
使	用 周 囲 温 度 (℃)	5~35	
使	用 周 囲 湿 度 (% R H)	40~85	
付	属 品	すのこ2枚・バンド	

電源コードの長さ：3m

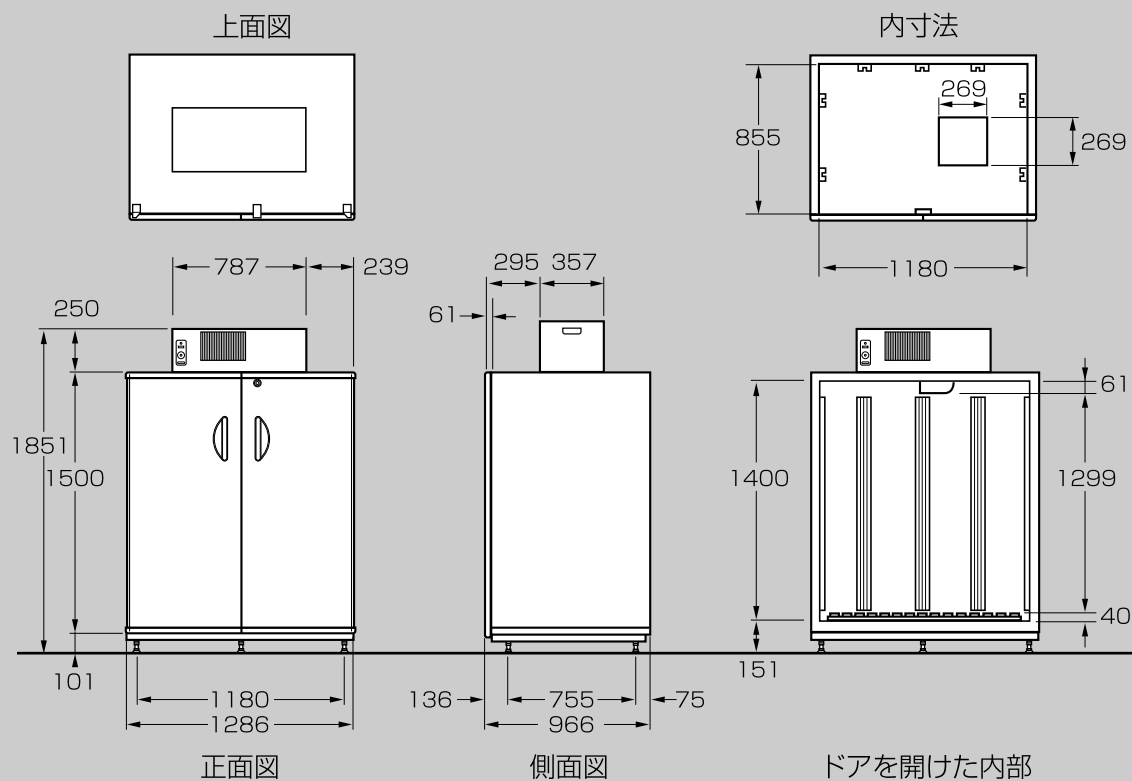
3.機械の仕様、構成、使用範囲

3.1.2.機械の据付寸法図

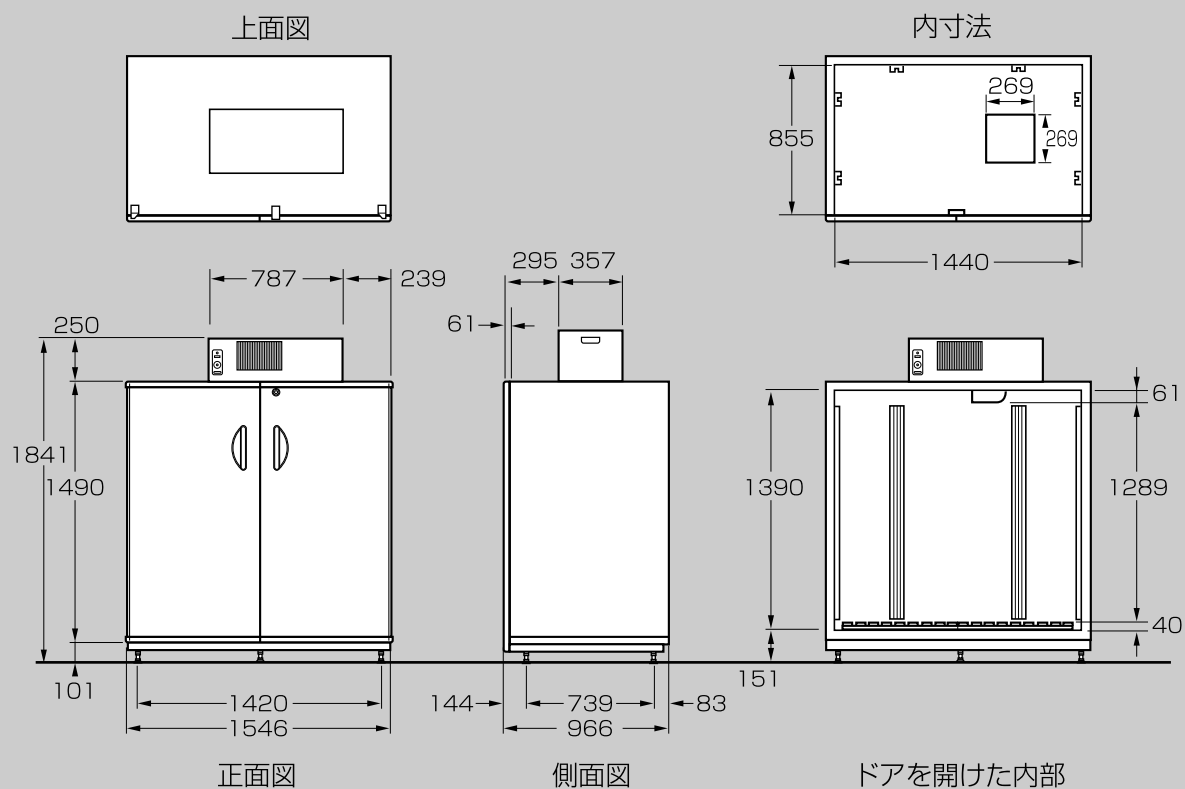
機械の主な据付寸法は次の通りです。

単位：mm

KP1300C



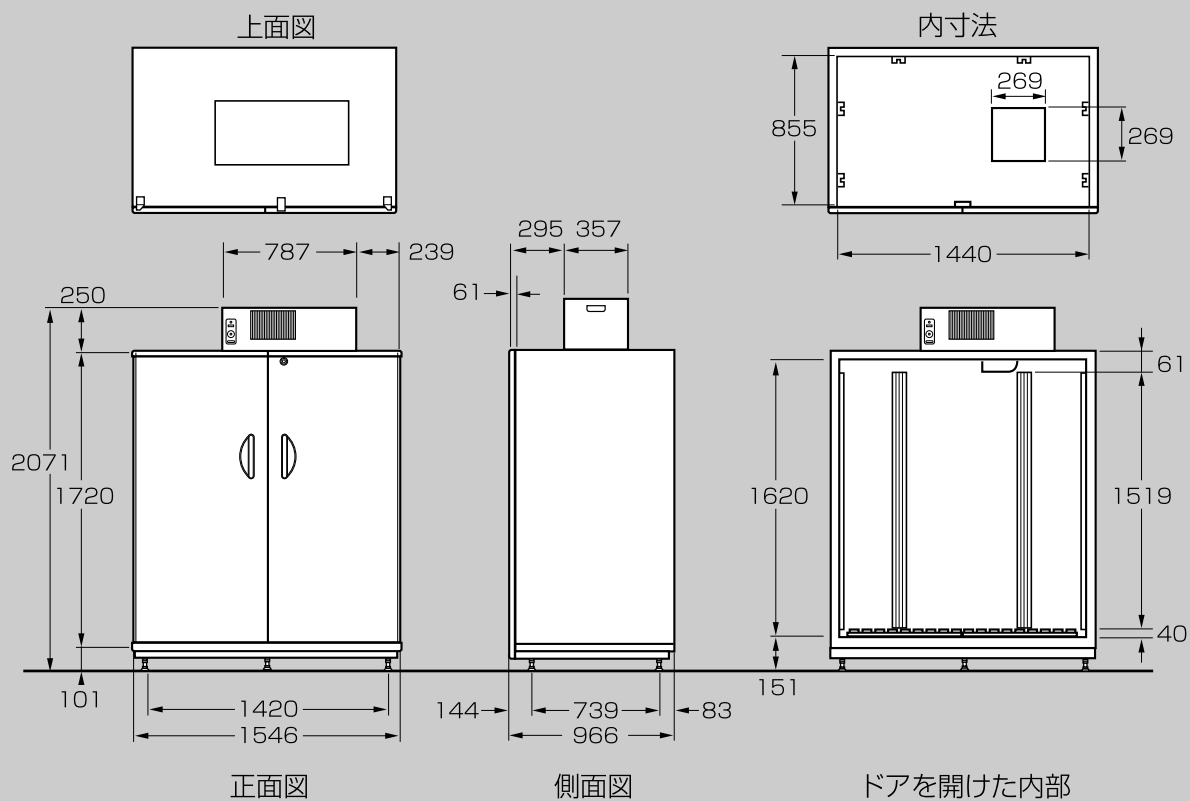
KP1600C



3.機械の仕様、構成、使用範囲

単位：mm

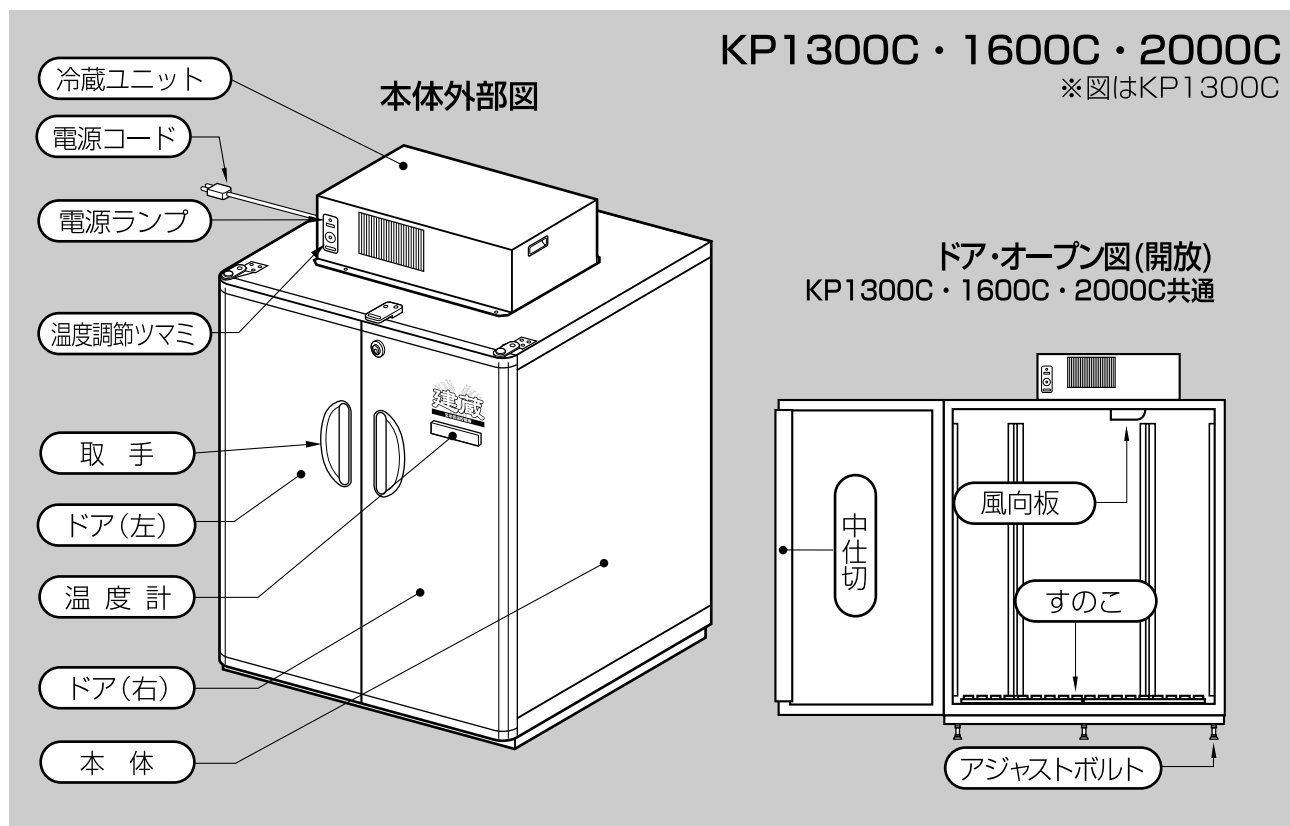
KP2000C



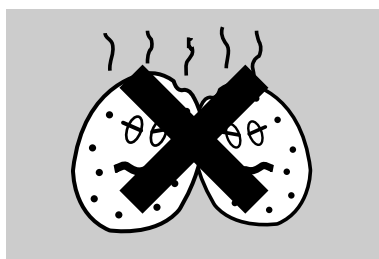
3.機械の仕様、構成、使用範囲

3.2.機械の構成

機械の構成を次に示します。



3.3.機械の使用範囲



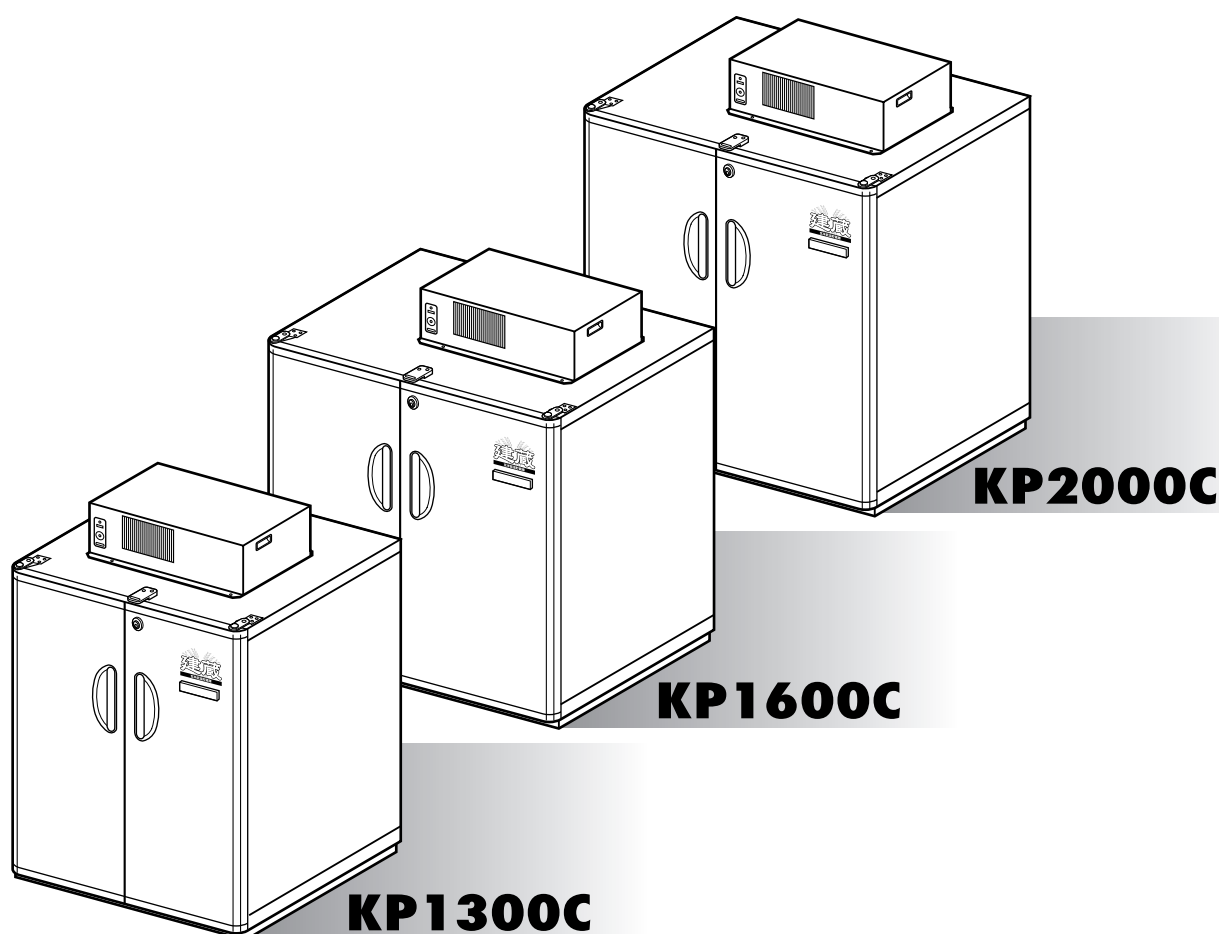
- この機械は玄米の保冷库として使用できます。
保冷とは、玄米の温度が上がらないように低温に維持することをいいます。
- この機械は、野菜類の保冷用としては使用できません。
玄米以外のもの（野菜、いも類や果物など）を保冷する目的には使わないでください。
- この機械の設定温度範囲は9℃～15℃です。
- この機械は、予冷用としては使用できません。
予冷とは、短時間で野菜や果物などの温度を下げることをいいます。
- この機械には加温機能がありません。
設定温度以下に外気温度が下がると、庫内の温度も外気温度に応じて下がります。ただし、本体の断熱性により、庫内表示温度と外気温度には時間的ズレがあり、必ずしも同じ温度を表示するわけではありません。

4 機械の使用

この章では、機械の使用上の注意事項
と使用方法について説明しています。

4.1.使用上の注意事項

4.2.使用方法



4.機械の使用

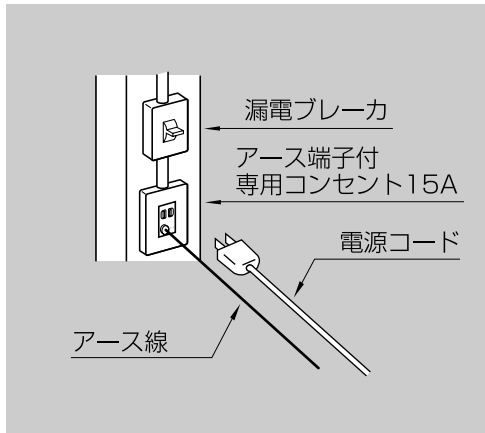
4.1.使用上の注意事項

お客様の購入されました玄米低温貯蔵庫は、**屋内用に設計・製造**されていますので、次の注意事項をお守りください。

注意事項	注意事項が守れなかった場合の不具合
1.設置 1.雨や直射日光が当たらない所。 2.風通しが良くて、湿気の少ない所。 3.床面がしっかりした、平らな所。 4.本体の回りに保守スペースが取れる所。 5.保冷库の近くには、肥料など金属を腐食させるものを置かないでください。	1.ショート・感電したりサビが発生することがあります。また、寿命が短くなったり、庫内の温度が上昇することがあります。 2.機械の周囲が湿り、本体外壁に水滴がつくことがあります。 3.振動音の発生や、ドアの密閉が悪くなり、冷気が漏れることがあります。 貯蔵物の重量で床が変形し、ドアに段差やスキマが出ることがあります。 本体の水平がくずれて、庫内に水滴が落ちてくることがあります。 4.冷蔵ユニットは点検と掃除が必要です。これを怠ると冷蔵ユニットの寿命が短くなります。 5.アルミ製のフィンが腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
2.貯蔵 1.米を貯蔵する場合は、水分を16%以下にまで乾燥して、紙袋で貯蔵してください。(長期貯蔵は15%以下が良い。) 2.精米を行う場合は、取り出してから外気温度と同じにしてから行ってください。 3.熱いものは外気温度と同じにしてから入れてください。 4.庫内の壁に密着して物を入れないでください。 5.ドアの開閉回数を少なくしてください。 6.保冷库には、肥料など金属を腐食させるものを入れないでください。	1.玄米水分が高すぎるとたとえ低温でもカビが発生したり、玄米が固まったりすることがあります。また、袋に入れずに裸で貯蔵すると乾燥します。 2.玄米の表面に水滴がつき、玄米が割れたり、精米後、白米の表面がひび割れすることがあります。 3.熱いものを冷やすのに時間がかかりますし、電気代もかかります。 4.冷気が循環できなくて、冷えない場所ができてしまいます。また壁に密着しているところは湿ります。 5.1日に何回もドアを開閉すると、庫内の湿度が上がります。 庫内湿度が上がると、玄米水分が上がったりカビが発生したりすることがあります。ドアの開閉は20秒以内で、1日5回以下にしてください。 6.アルミ製のフィンが腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
3.掃除 1.冷蔵ユニットの熱交換器（凝縮器）は定期的に掃除をしてきれいにしてください。	1.ホコリが付着して熱交換が不十分だと、電気代が増えます。また冷蔵ユニットの寿命が短くなります。

4.2.使用方法

4.2.1.電源の接続について



警告

漏電ブレーカを取付けてください。

電源コンセントにプラグを差し込むと、電源ランプが点灯して、冷蔵運転を開始します。（冷蔵運転の開始は、庫内温度が設定温度より高い場合）

電源プラグを抜いて運転を停止したときは、**5分間以上停止したままにしてください。**

運転・停止をひんぱんに行うと、冷蔵ユニットの故障につながります。

重要

- 1.15A以上のアース端子付専用コンセントを設けて単独で使用してください。
- 2.安全のため漏電ブレーカ（15mAまたは30mA）を取付けてください。
- 3.コードリールは使用しないでください。
- 4.たこ足配線は、絶対しないでください。
- 5.電源コードは踏みつけないでください。



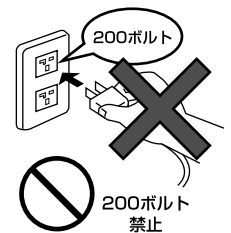
注意

- この機械は交流100V専用です。



警告

- 交流200Vは絶対に使用しないでください。

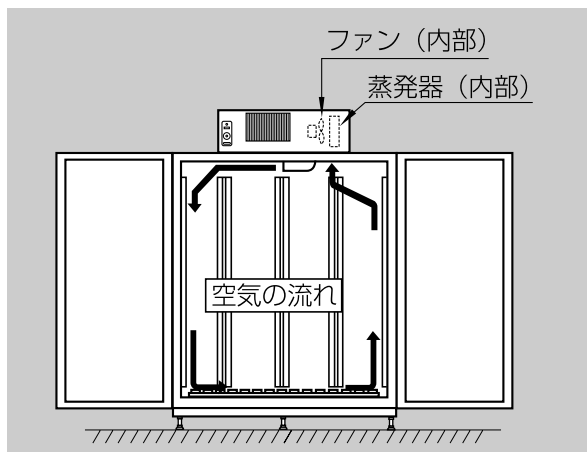


4.2.2.庫内冷却について

庫内には冷却空気を循環させるためにファンが付いています。

このファンは庫内の貯蔵物を均一に冷却させるためのもので、急冷用ではありません。

庫内壁面には冷気が流れるためのすき間を開けてください。



4.2.3.庫内温度の設定について

この機械の設定温度範囲は**9℃～15℃**です。庫内温度は設定温度に対して**上下2℃の範囲で制御**します。

ドアにある温度計の表示も通常この範囲を表示します。ただし、運転開始後、数日程度は庫内温度が安定しないため、この範囲を越すことがあります。

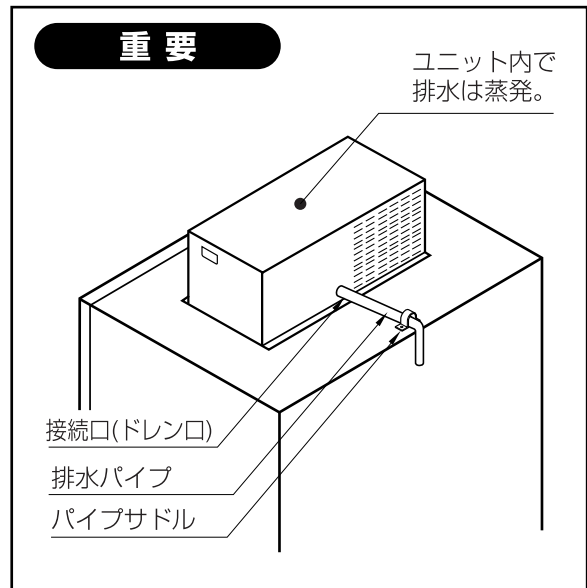
庫内温度	9℃～15℃
庫内湿度	55～70%
用途	玄米専用
ファンの動き	圧縮機と連動

（庫内湿度は参考値です。ドアの開閉頻度、外気温度・湿度により変化します。）

4.機械の使用

4.2.4.排水について

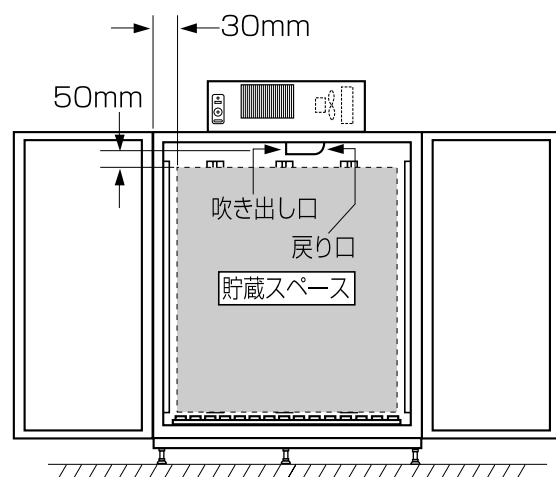
冷蔵ユニットの排水は、ユニット内で蒸発するようになってます。排水パイプは、多量の排水があった時、本体の天板に水が落ちないように取付けています。(ドアを閉め忘れた時や、ドアを何回も開閉した時には、排水パイプから水が出ることがあります。)



4.2.5.貯蔵品の入れ方について

重要

- 1 玄米入りの紙袋を庫内に入れるとき、壁面から30mm以上開けて、冷気が庫内をまんべんなく循環するようにしてください。
- 2 庫内上部には冷気の吹き出し口、戻り口があります。
この部分がふさがれると冷却できませんので、50mm以上のすき間を取ってください。
- 3 温度が高いものは、外気温度と同じになるまで待ってから入れてください。



4.2.6.転倒防止バンドについて

玄米入りの紙袋が倒れないようにバンドをかけてください。

重要

- ベルトはあくまで補助的なものです。米袋は、荷崩れしないように積み上げてください。

4.2.7.玄米の貯蔵について

KP1300Cは30Kgの紙袋で21袋（KP1600Cは28袋、KP2000Cは32袋）の貯蔵ができます。

- 1** 次のページの図のようにKP1300Cは3列・7段（KP1600Cは4列・7段、KP2000Cは4列・8段）に積んでください。
庫内壁面（前後左右）に紙袋がふれないように30mm程度のすき間を開けてください。
- 2** 設定温度は**12℃**にしてください。（出荷時の温度設定は12℃になっています。また、温度調節範囲は9℃～15℃です。）
15℃以下になっていれば虫の発生はありませんし、古米化も防止できます。
- 3** KP1300Cは外気温度30℃の温度で21袋を入れて運転すると、温度計の表示は3時間程度で12℃まで下がります。袋の中心部が12℃になるには約5日間かかります。
※KP1600Cは28袋で4時間程度で12℃まで下がり、袋の中心部が12℃になるには、約6日間かかります。
※KP2000Cは32袋で4時間程度で12℃まで下がり、袋の中心部が12℃になるには、約7日間かかります。
- 4** 玄米を貯蔵するとき、水分の多い品物（野菜・果実など）や香りを発生する品物との同時貯蔵はしないでください。**玄米だけで貯蔵**してください。
- 5** 精米を行う場合は袋を庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米してください。
夏場は温度差が大きいため12時間以上の時間が必要です。
- 6** 初夏から夏（6～9月）にかけて玄米を取り出す時は、早朝の温度が低いときに取り出すように心がけてください。

重要

- 貯蔵中の米袋に冷気が直接当たらないようにしてください。
- 必ず、冷気の循環路を確保してください。

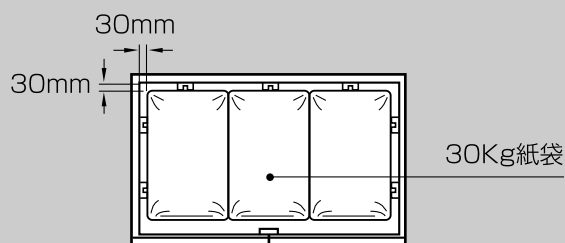
重要

- 冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露がつき（結露）玄米の表面が白くひび割れを起こすことがあります。紙袋の口は開けないでください。精米直前に開封してください。

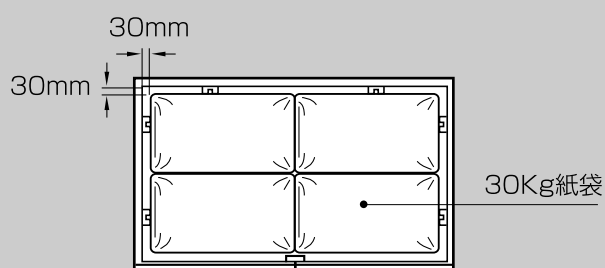
4.機械の使用

庫内の壁に袋がふれないように30mm程度のすき間を開ける

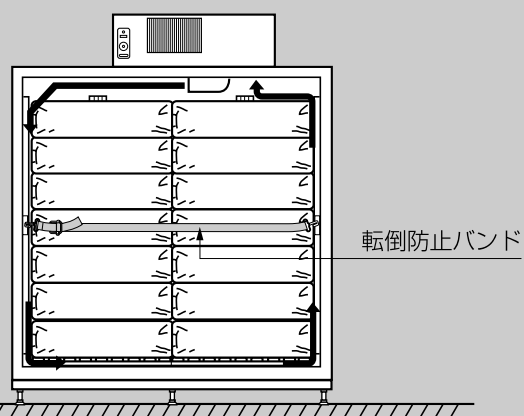
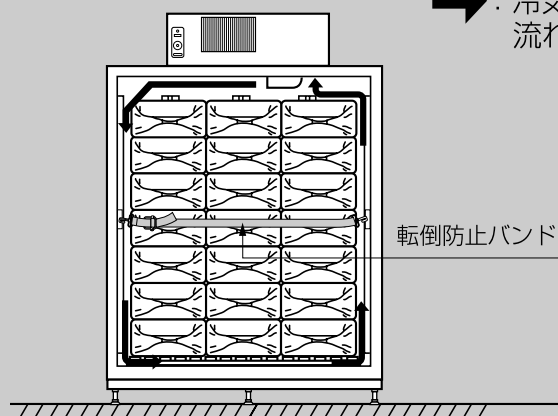
KP1300C
3列×7段=21袋



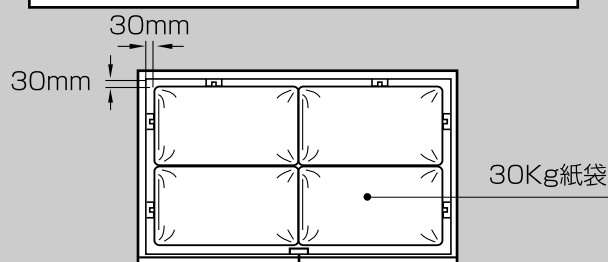
KP1600C
4列×7段=28袋



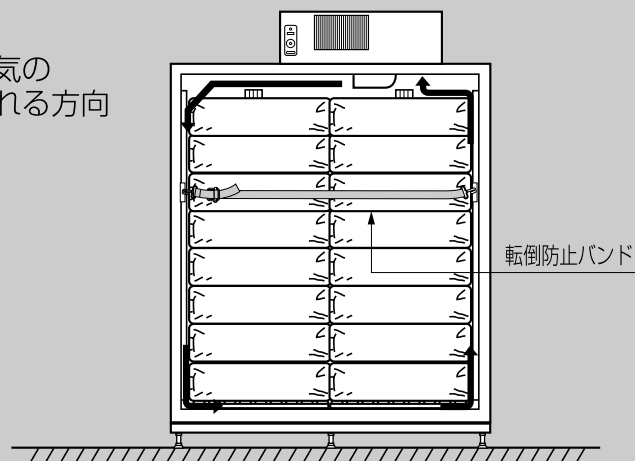
➡ : 冷気の
流れる方向



KP2000C
4列×8段=32袋



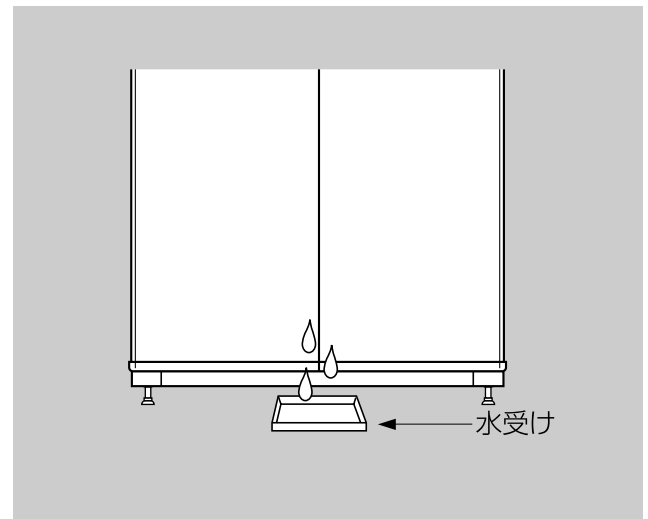
➡ : 冷気の
流れる方向



4.2.8.結露について

入梅から夏にかけてドアの合わせ部に露がつき、床に水が溜まる場合がありますが故障ではありません。水の量が多い場合は受皿（お客様でご用意願います。）で受けてください。

また、著しく高温・高湿の時には、本体全体に結露が生ずることがありますが故障ではありません。風通しをよくしてください。

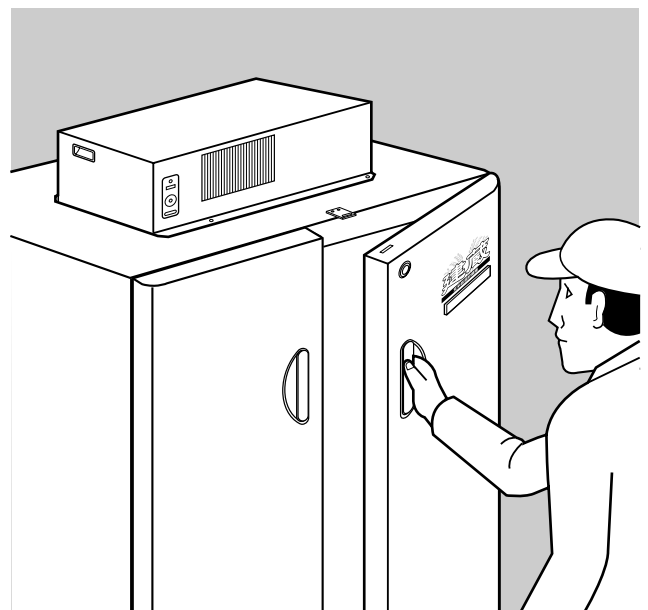


4.2.9.ドアの密閉について

ドアは確実に閉めてください。
マグネットパッキンが本体に密着しているか確認してください。ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとするとうドアが重くなります。これは、庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

重要

ドアがしっかり閉まっていないと庫内に露が付き、お米がカビることがあります。

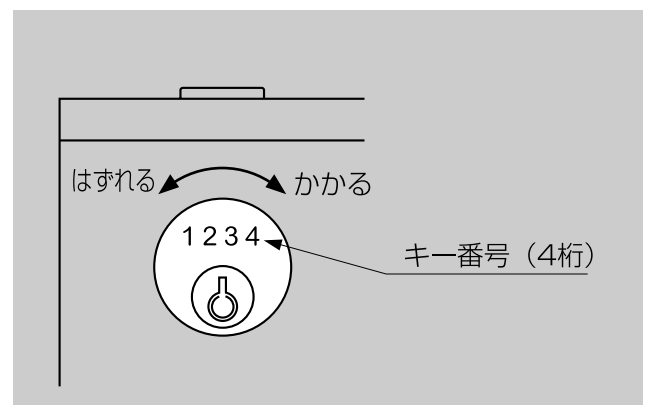


4.2.10.カギについて

貯蔵品の出し入れが終わったら必ずカギをかけてください。

カギをかけるときは中に人がいないことを確認してください。

キーは2個ありますので別々に保管すると紛失したときに安心です。2個とも紛失して注文するときは、キーの番号を連絡してください。



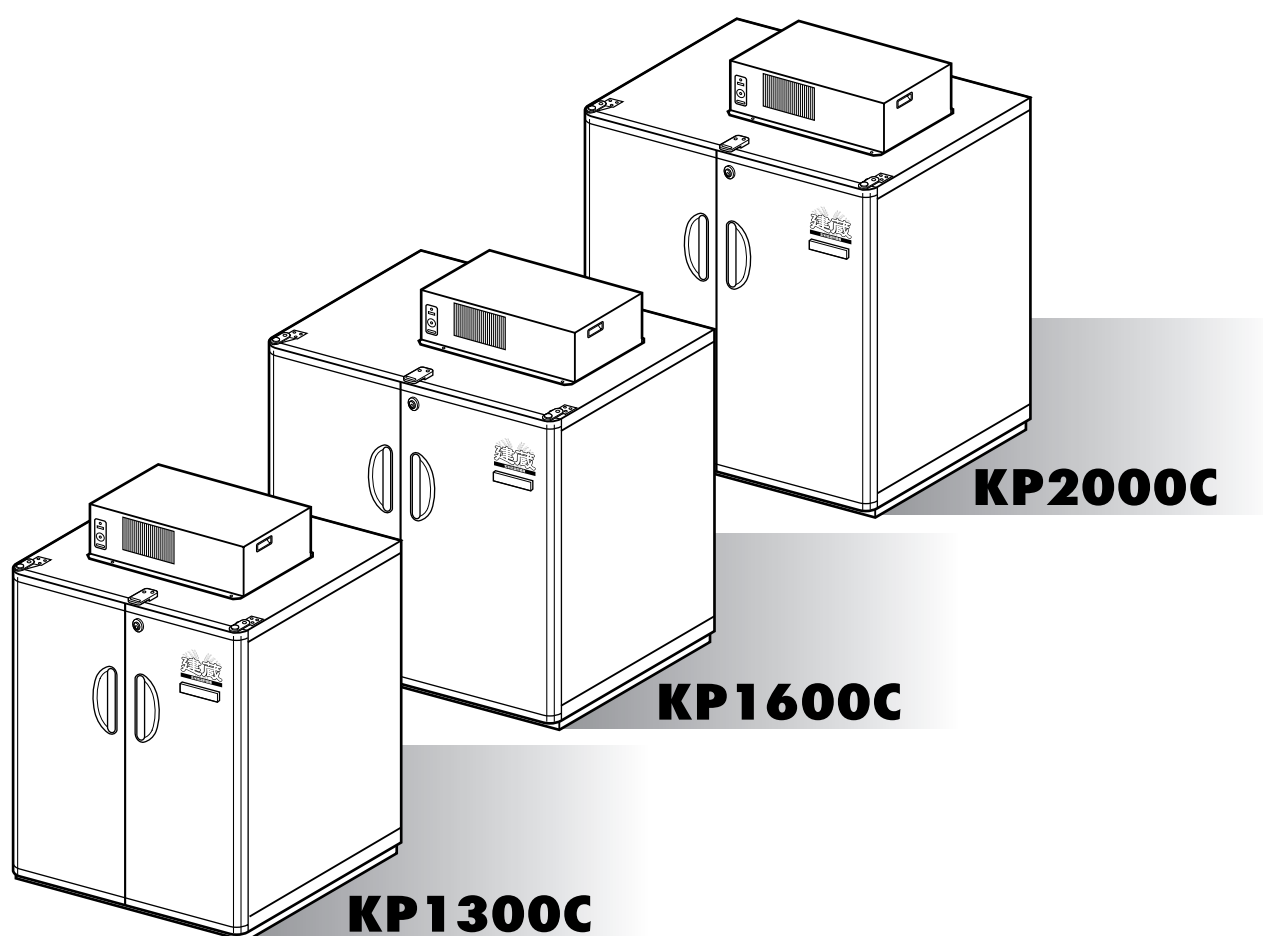
5 点検と掃除と廃棄

この章では、機械の点検箇所と方法、
掃除箇所と方法および廃棄について
説明しています。

5.1.点検箇所と方法

5.2.掃除箇所と方法

5.3.貯蔵庫の廃棄について



5.1.点検箇所と方法

5.1.1.庫内温度の点検

- ドアにある温度計で庫内温度の確認をしてください。

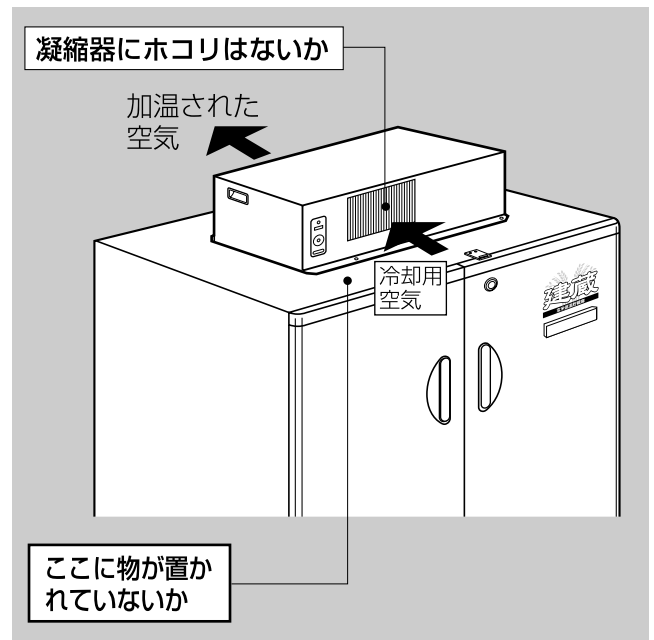


警告

本体や冷蔵ユニットの上に物を置かないでください。ドアを開けた時に物が落下し、ケガをすることがあります。

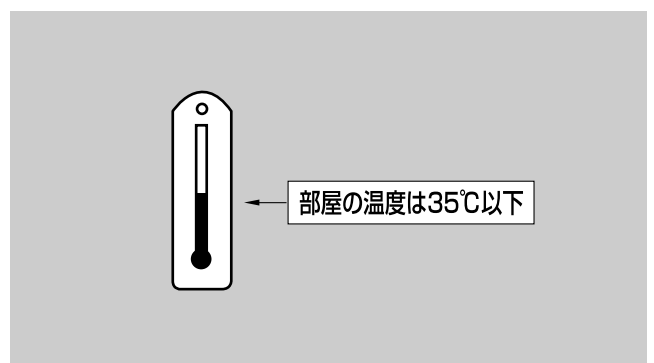
5.1.2.凝縮器の点検

- 冷蔵ユニットの前面・後面には物を置かないでください。
- 凝縮器のフィンにホコリがついていないか確認してください。冷却用空気が凝縮器のフィンの部分を通過しています。ここをふさがれますと、冷却能力が下がり、庫内が冷えなくなります。また冷蔵ユニットの寿命を短くしますので注意してください。



5.1.3.設置場所室温の点検

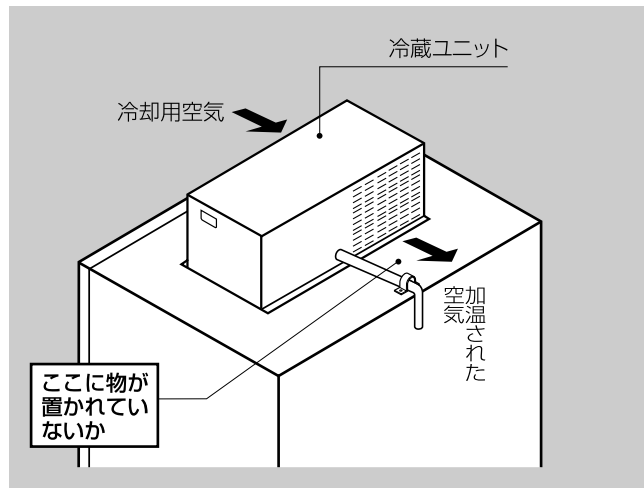
- 室内の温度が35℃以下であることを確認してください。
- 室内の温度が35℃以上になると冷却能力がいちじるしく低下します。また電気代のムダや、冷蔵ユニットの故障の原因となりますので**風通しをよくする工夫**をしてください。



5.点検と掃除と廃棄

5.1.4.排水の点検

- 排水パイプは冷蔵ユニットに接続され、先端及びユニットとの接続部が詰まっているか確認してください。排水パイプがしっかりと差し込まれていることを確認してください。



5.1.5.長期間使用しないとき

電源プラグを抜き、ドアを開いて、庫内を乾燥させてください。

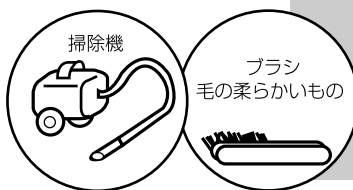


冷蔵ユニットの内部に指や棒、針金等を入れないでください。冷気の吹出し口、戻り口に入手を入れないでください。感電やケガをすることがあります。

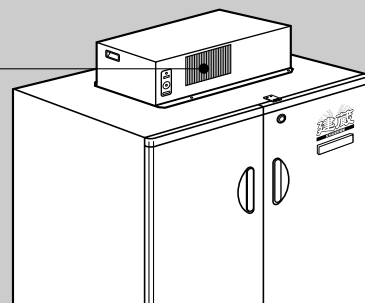
5.2.掃除箇所と方法

5.2.1.凝縮器フィンの掃除

- 1 電源プラグを抜いて、運転を停止します。
- 2 掃除機と柔らかい毛のブラシを用意して、フィンに付着したホコリを取り除きます。



このフィンを掃除する

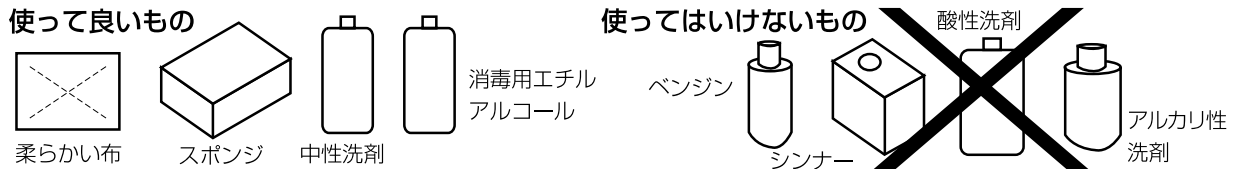


- 1.凝縮器のフィンに素手でさわらないでください。
- 2.水はかけないでください。

- 注意**
- 1.ブラシはフィンに沿って上下に動かします。フィンを曲げないようにやさしく扱ってください。
 - 2.刃物や先の鋭いものを使わないでください。フィンや凝縮器が破損することがあります。

5.2.2. ドアや庫内の掃除

- 1** 電源プラグを抜いて、運転を停止します。
- 2** 洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。
次に、洗剤が残らないよう、水拭きしてください。**水をかけて洗わないでください。**
- 3** かびが見られるときは、消毒用エチルアルコールをスプレーすると効果があります。
アルコールの臭いがなくなるまでドアを開けておいてください。



警告

- 1.消毒用エチルアルコール以外の溶剤（例えばベンジンやシンナーなど）や酸性やアルカリ性の洗剤（風呂用洗剤など）は絶対に使わないでください。
- 2.冷蔵ユニットには直接水をかけないでください。漏電や故障の原因になります。

5.3.貯蔵庫の廃棄について

- 長年お使いいただいた後、廃棄される場合は、必ず冷蔵ユニットをはずし、本体と別にしてください。本体は分解してください。
- 廃棄は一般廃棄物として処理してください。
（不法投棄は絶対にしないでください。廃棄物処理法により罰せられます。）
- 冷蔵ユニットには、冷媒としてフロンを充てんしています。

注意

- 地球環境保護のため、次の事が法律で決められていますので必ず守ってください。
- 1.この製品に封入されている冷媒をみだりに大気中に放出しないでください。
- 2.この製品の廃棄時は、封入されている冷媒を回収してください。

冷媒の回収は第1種フロン類回収業者に依頼されるか、ご購入先に相談してください。

※フロンの回収には費用が掛かりますので、ご負担をお願い致します。

- この製品に使用しているフロン等は次の通りです。

冷 媒 の 種 類 と 量	HFC-134a、133g
冷 凍 機 油 の 種 類 と 量	フレオールα22(I)、195ml

6 不調診断と処置

この章では、機械の不調の様子を調べていただくこと、処置していただくこと、および参照していただくページについて説明しています。

万一不調が起きたときは、まず次のことをお調べください。容易に処置できることがあります。それでもなお調子が悪いときは、ご購入先、または、弊社にご連絡ください。

不調の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参照
庫内がまったく冷えない。	1.電源が入っていますか。	1.電源プラグを確認する。	P.18
冷蔵ユニットがすぐ止まる。 (冷えない)	1.風向板の取り付けは正しいですか。(冷気の吹き出し口と戻り口がありますか。)	1.風向板の取り付けを確認する。	P.19 組立説明書のP.9
設定温度まで冷えない。	1.直射日光が当たっていませんか。 2.風通しが悪く、周囲の温度が高くなっていませんか。 3.ドアを頻繁に開けていませんか。 4.凝縮器のフィンにホコリが付いていませんか。 5.上面に物が置かれて凝縮器の冷却空気が流れにくくなっていませんか。 6.庫内に物を詰めすぎていませんか。 7.設定温度は希望の温度に設定してありますか。 8.ドアにすき間がありませんか。	1.直射日光を防ぐ。 2.風通しを良くするように工夫する。 3.ドアの開閉回数を減らす。 4.ホコリの確認をし、ホコリがあれば掃除をする。 5.物を取り除く。 6.庫内の物を少なくする。 (冷気の循環路を確保する。) 7.設定温度が違っていれば再設定する。 庫内温度は設定温度に対して上下2℃の範囲で制御します。 8.ドアのすき間をなくす。	P.17 P.17 P.24 P.24 P.25 P.24 P.19 P.21 P.18 P.29

不調の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参照
設定温度以下を表示する。	1.庫内に物を詰めすぎていませんか。 2.庫内の冷気循環路は確保されていますか。 3.運転開始直後ですか。 4.設定温度は希望の温度に設定してありますか。	1.庫内の物を少なくする。 (冷気の循環路を確保する。) 2.冷気循環路を確保する。 3.運転開始直後は、庫内温度が不安定のため設定温度以下を表示することがあります。庫内温度が安定するまでに数日間かかります。 4.設定温度が違っていれば再設定する。庫内温度は設定温度に対して上下2℃の範囲で制御します。	P.19 P.21 P.18 P.19 P.21 P.18 P.18
庫内に水滴が落ちてくる。	1.排水パイプは浮き上がっていませんか。 2.排水パイプはしっかり差し込まれていますか。 3.本体が前後左右に傾いていませんか。 4.ドアが開いていませんか。	1.パイプサドルでしっかりと固定し、浮き上がりをなくす。 2.排水パイプを接続口にしっかり差し込む。 3.本体を水平にする。 4.ドアを閉める。	P.19 P.25 P.19 P.25 P.17 P.29
庫内に露がつく。	1.ドアが開いていませんか。	1.ドアをしっかりと閉める。	
本体の外に露がつく。	1.周囲の温度や湿度が高くありませんか。 2.ドアの合わせ部に露が付いていませんか。	1.保冷库の設置してある室内の温度が35℃以上の場合や湿度が高い時は換気をよくするよう工夫する。 2.ドアの合わせ部には露が付くことがあります。水の量が多い場合は受皿（お客様でご用意願います）で受けてください。	P.22 P.24 P.22
ドアが傾いている。	1.床面が柔らかくありませんか。 2.床面が凸凹で本体がひずんでいませんか。	1.床の固い設置場所に変更してください。 2.アジャストボルトで調整してください。	P.17 P.29 P.29
異常音がする。	1.保冷库を設置した床は、しっかりしていますか。 2.冷蔵ユニットは確実に固定されていますか。	1.床の固い場所に設置変更してください。 2.ネジのゆるみを点検し、増締めをする。	P.17 P.29 組立説明書のP.11

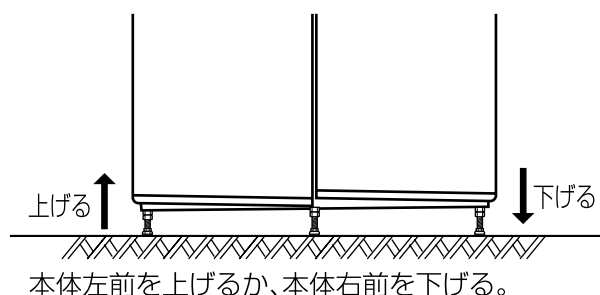
6.不調診断と処置

●ドア段差とドア間隔の調整

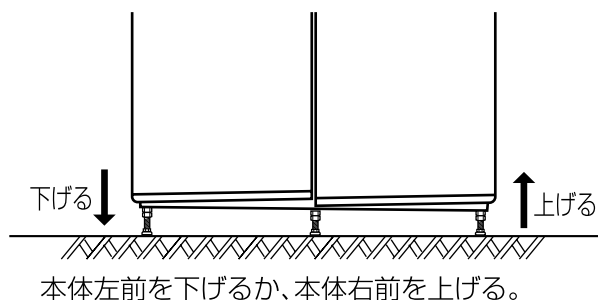
重要

- 1.スパナ24mmでアジャストボルトを調整します。
- 2.水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。
- 3.調整終了後、ロックナットを締め付けてください。
- 4.床面が柔らかいときは、床面の固い所に設置変更してください。

●右ドアが左ドアより高いとき



●左ドアが右ドアより高いとき

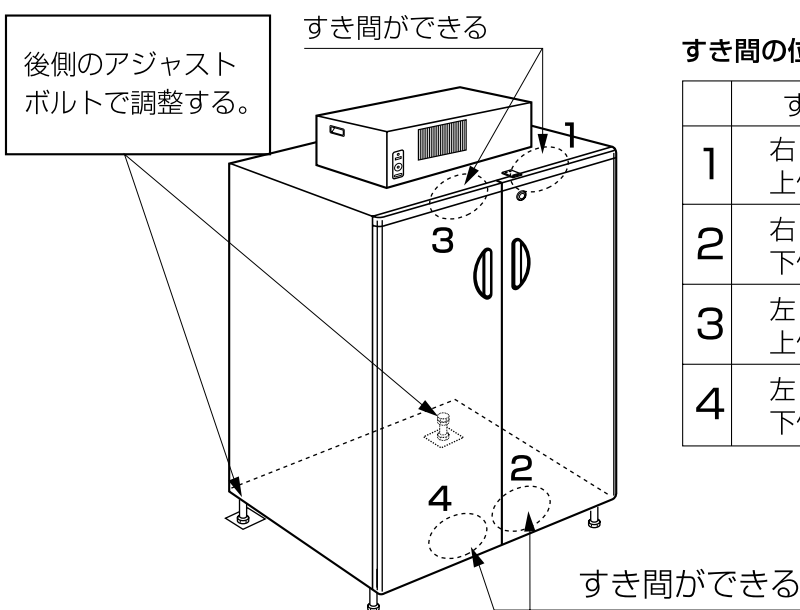


◎左右ドアの上下のすき間が同じにならないときは、天パネルの前側の左右にあるヒンジ（上）金具で調整します。

●ドアゴムと本体のすき間の調整

◎ドアゴムと本体の間にすき間が出るときは、本体に歪みがあります。（床パネルが水平に設置されていない。）

後側のアジャストボルトを調整して、歪みを取ってください。



すき間の位置と調整

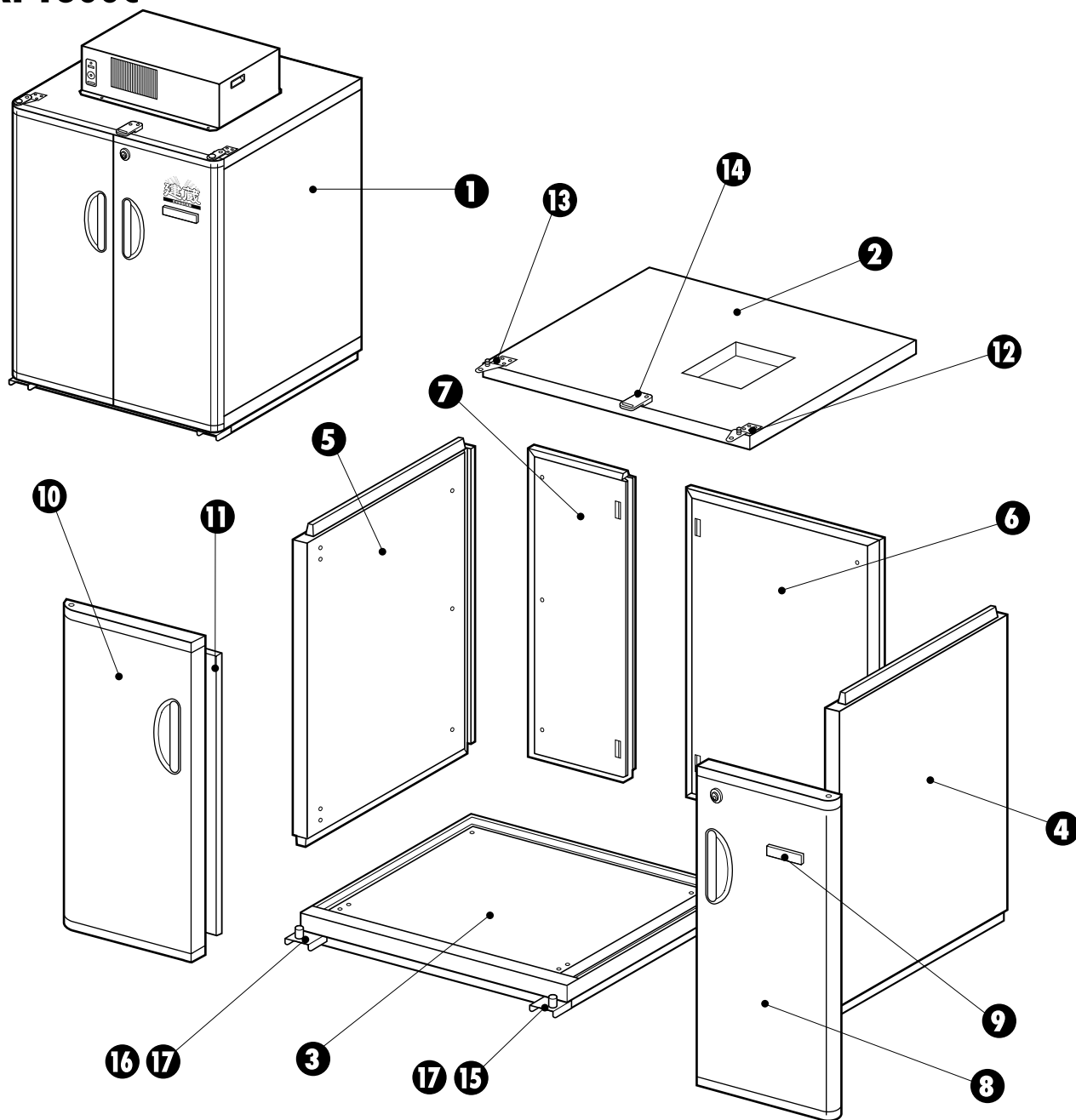
	すき間の位置	本体の調整方法
1	右ドア中央部の 上側が空くとき	右後側を下げる 左後側を上げる
2	右ドア中央部の 下側が空くとき	右後側を上げる 左後側を下げる
3	左ドア中央部の 上側が空くとき	左後側を下げる 右後側を上げる
4	左ドア中央部の 下側が空くとき	左後側を上げる 右後側を下げる



保守部品

この章では、主な保守部品について説明しています。

KP1300C

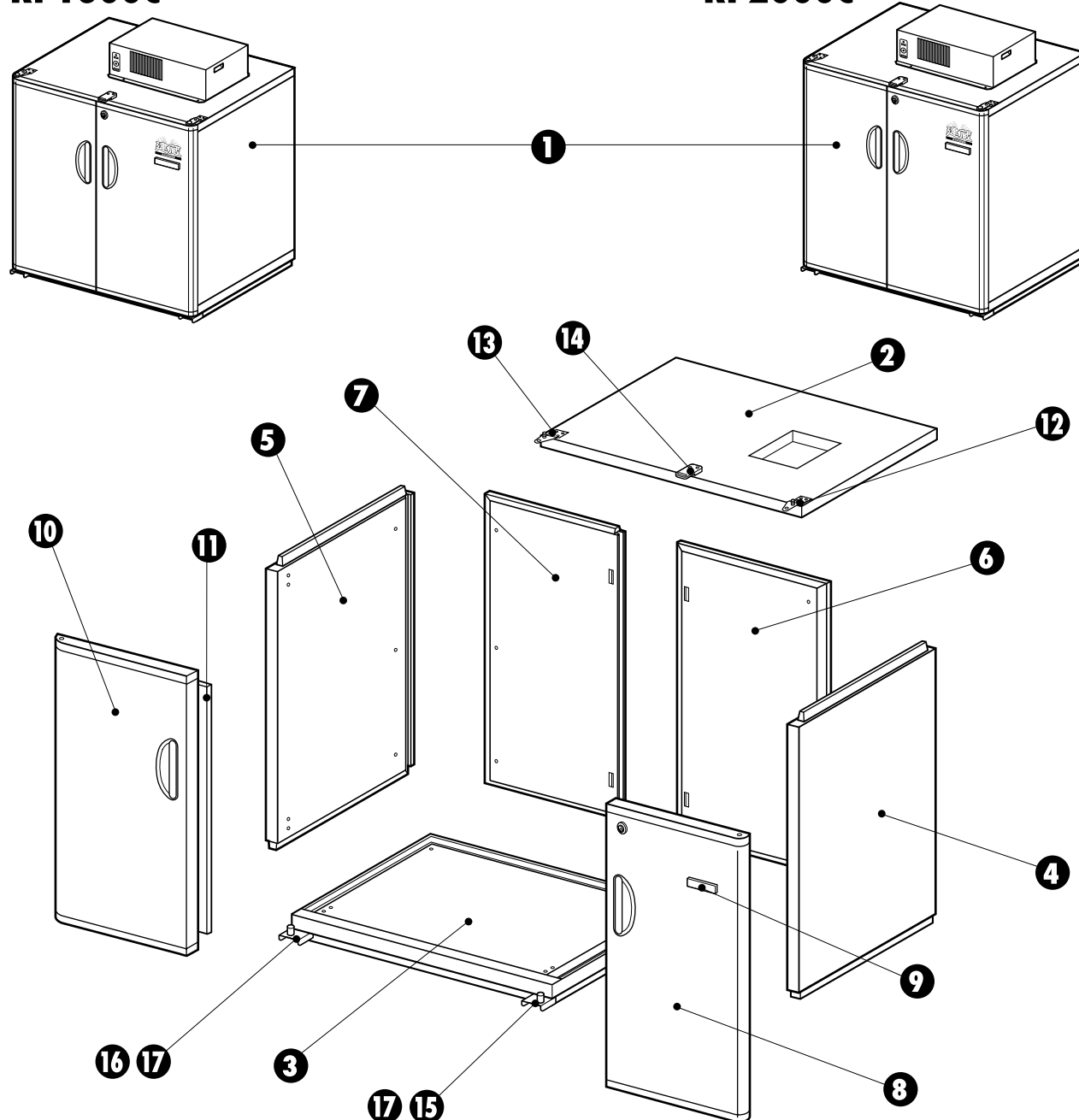


部品No.	コードNo.	品名	必要数
1	10739-000001	KP1300C一式	1
2	10739-101001	天パネル	1
3	10739-101002	床パネル	1
4	10739-102001	右横パネル	1
5	10739-102002	左横パネル	1
6	10739-102003	右後パネル	1
7	10739-102004	左後パネル	1
8	10739-103001	右ドア	1
9	10734-202001	温度計	1

部品No.	コードNo.	品名	必要数
10	10730-103002	左ドア	1
11	10717-103003	中仕切	1
12	10718-200002	ヒンジ (上・右)	1
13	10718-200003	ヒンジ (上・左)	1
14	10731-200003	鍵バー受	1
15	10718-200004	ヒンジ (下・右)	1
16	10718-200005	ヒンジ (下・左)	1
17	10718-200015	ヒンジ (下) ベース	2

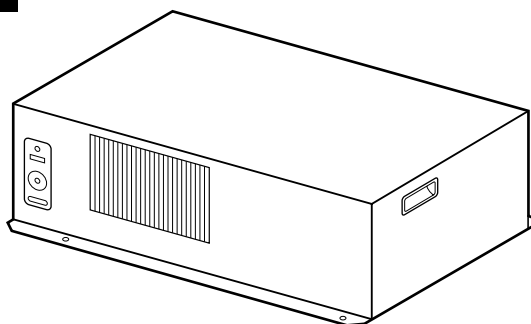
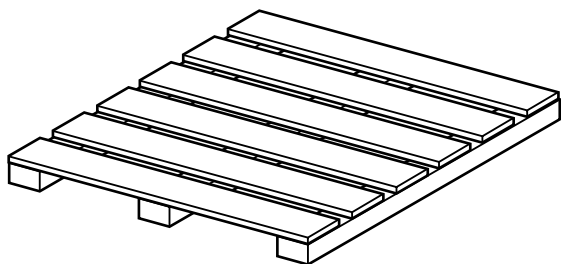
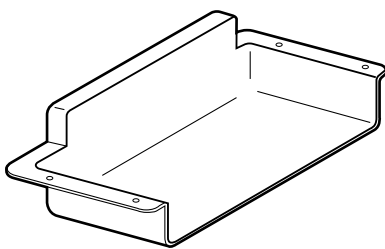
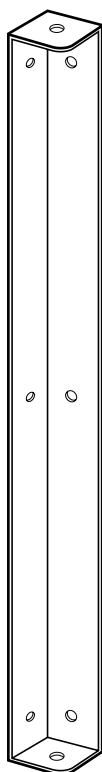
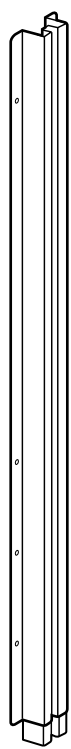
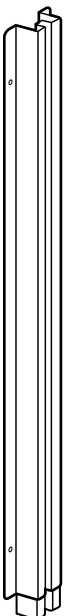
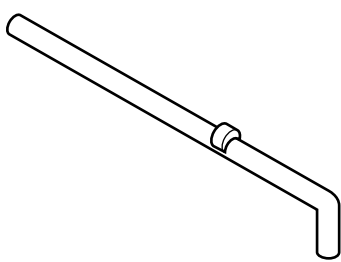
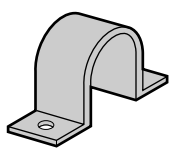
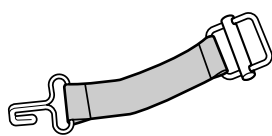
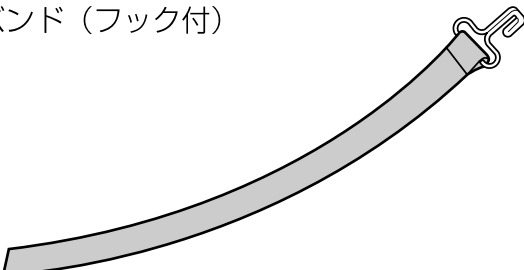
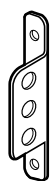
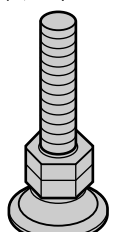
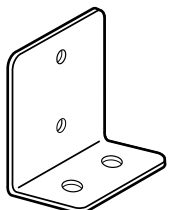
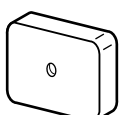
KP1600C

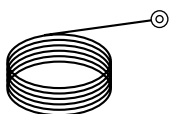
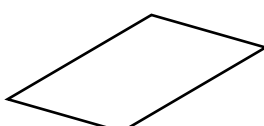
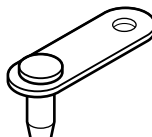
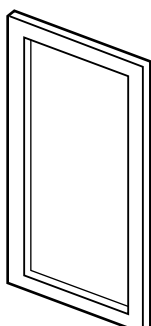
KP2000C



部品 No.	コードNo.	品 名	必 要 数	
			KP1600C	KP2000C
1	10740-000001	KP1600C一式	1	—
	10741-000001	KP2000C一式	—	1
2	10741-101001	天パネル	1	1
3	10741-101008	床パネル	1	1
4	10740-102001	右横パネル	1	—
	10741-102001	右横パネル	—	1
5	10740-102004	左横パネル	1	—
	10741-102004	左横パネル	—	1
6	10740-102007	右後パネル	1	—
	10741-102007	右後パネル	—	1
7	10740-102010	左後パネル	1	—
	10741-102010	左後パネル	—	1
8	10740-103001	右ドア	1	—
	10741-103001	右ドア	—	1

部品 No.	コードNo.	品 名	必 要 数	
			KP1600C	KP2000C
9	10734-202001	温度計	1	1
10	10740-103007	左ドア	1	—
	10741-103008	左ドア	—	1
11	10736-103011	中仕切	1	—
	10762-103012	中仕切	—	1
12	10718-200002	ヒンジ (上・右)	1	1
13	10718-200003	ヒンジ (上・左)	1	1
14	10731-200003	鍵バー受	1	1
15	10718-200004	ヒンジ (下・右)	1	1
16	10718-200005	ヒンジ (下・左)	1	1
17	10741-201025	ヒンジ (下) ベース	2	2

1 冷蔵ユニット 	2 すのこ 			
3 風向板 	4 後連結金具 	5 荷摺り柱 (大) 	6 荷摺り柱 (小) 	
7 排水パイプ 				
8 パイプサドル 				
9 バンド (バックル、フック付) 	10 バンド (フック付) 			
11 バンド掛金具 	12 アジャスト ボルト 	13 前連結金具 	14 締結金具 	15 締結金具 カバー 

16 アース線 	17 取扱説明書一式 	18 ヒンジ金具 	21 マグネットパッキン 
19 リング 	20 キー 		

部品No.	コード No.	品 名	必 要 数		
			KP1300C	KP1600C	KP2000C
1	10741-106004	冷蔵ユニット	1	1	1
2	10717-104001	すのこ	1	—	—
	10718-104001	すのこ	—	2	2
3	10718-204003	風向板	1	1	1
4	10738-104001	後連結金具	2	—	—
	10740-104001	後連結金具	—	2	—
	10741-104002	後連結金具	—	—	2
5	10762-204003	荷摺り柱（大）	7	6	12
6	10761-204001	荷摺り柱（小）	7	6	—
7	10718-204023	排水パイプ	1	1	1
8	10718-204024	パイプサドル	1	1	1
9	10718-204006	バンド（バックル、フック付）	1	1	1
10	10718-204007	バンド（フック付）	1	1	1
11	10762-204004	バンド掛金具	2	2	2
12	10718-201046	アジャストボルト	6	6	6
13	10741-204005	前連結金具	4	4	4
14	10711-204003	締結金具	2	2	2
15	10741-204011	締結金具カバー	2	2	2
16	10705-202013	アース線	1	1	1
17	10741-104001	取扱説明書一式	1	1	1
18	10718-200018	ヒンジ金具	2	2	2
19	10705-201163	リング	2	2	2
20	10712-201213	キー	2	2	2
21	10717-103004	マグネットパッキン	2	—	—
	10736-103006	マグネットパッキン	—	2	—
	10718-103006	マグネットパッキン	—	—	2



連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先または下記のところへ連絡してください。

購 入 先	
住 所	
T E L	

製造元 **静岡製機株式会社**

本 社	〒437-8601 静岡県袋井市山名町4-1	☎袋井	(0538) 42-3116 FAX.(0538) 45-0316
札幌営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎札幌	(011) 781-2234 FAX.(011) 780-2273
仙台営業所	〒989-6135 宮城県古川市稲葉字亀ノ子50-1	☎古川	(0229) 23-7210 FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市姥ヶ山1丁目5番30号	☎新潟	(025) 287-1110 FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原字桑原1424-1	☎取手	(0297) 73-3530 FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-0023 静岡県袋井市高尾2630	☎袋井	(0538) 43-2251 FAX.(0538) 45-0310
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町10-1-1	☎金沢	(076) 249-6177 FAX.(076) 240-9333
大阪営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎大阪	(06) 6432-7890 FAX.(06) 6434-2184
岡山営業所	〒700-0975 岡山県岡山市今2丁目8-12	☎岡山	(086) 244-4123 FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1	☎久留米	(0942) 32-4495 FAX.(0942) 31-7373

